

「家庭でのルールづくり」(具体例)

子どもが賢くケータイを利用することと、「家庭で使用についてのルール」づくりを親子で相談することに、大きな相関があることが、各研究機関から指摘されています。賢い利用には、家庭のルールは不可欠だということを意味します。下記のそれぞれに項目とその例示をヒントとして、各家庭で子どもを交えて、我が家のルールを相談して下さい。

○ケータイ所持の目的や購入動機について

- ・ケータイを購入する場合、購入目的を家庭でしっかり話そう。
- ・友だちが持っているから、誕生日だから、成績が上がったから、部活動で勝ったから等、プレゼントやご褒美での購入ではなく、何のために購入するのかしっかり相談しよう。

○利用の仕方について(使う時間や場所、使い方、健康面への配慮等)

- ・自宅では子ども部屋ではなく居間で利用しよう。(ネット利用はリビングで! 米国FBIも全米の保護者に勧めています。)
- ・食事中、入浴中・勉強中・自転車乗車中等、何かをしながらのケータイは止めよう。
- ・目の疲れを防ぎ、遅い就寝にならない様に「お休みメール」や深夜の使用は止めよう。
- ・速攻レスや3分ルール等の無理なメールの返信ではなく、時間がある時に返信しよう。
- ・学校のネットルールやケータイルールをきちんと守ろう。

○利用の内容について(メールやウェブサイトへの対応)

- ・ネットの情報が自分に必要で正しい情報かどうかをよく考えてアクセスしよう。
- ・不明なサイトやチェーンメール、知らない人からのメールは無視しよう。
- ・掲示板等の書き込みには個人情報に十分に注意し、安易な書き込みはしない。
- ・架空請求等の不正請求には必ず親に相談し、自分で対応することは止めよう。

○利用のマナーやルールについて

- ・人の心を傷つける事実無根や誹謗中傷の内容を書き込むことは止める。
- ・友だちに流されて書き込んだりせず、断る勇気を持ちましょう。
- ・大人になり判断力がつくまで、無責任(な投稿)になりやすい匿名サイトの利用は遠慮しよう。
- ・大事な話は、必要によっては、直接、会って話す等、ケータイと適度な距離をおこう。

○利用制限について(フィルタリングや料金制限)

- ・フィルタリングで有害情報から身を守り、安心して安全な利用をしよう。
- ・危険なサイトにアクセスしないようにフィルタリングを必ず設定しよう。
- ・利用料金や利用時間などのリミット制を設定し、適切な利用環境をつくろう。
- ・ケータイの使用が日常生活に支障がある時やルール違反がある場合、利用を停止しよう。

○その他について

- ・子どもの身を守り、ケータイ依存からの回避のため、ルールづくりを必ずおこなおう。
- ・家庭のルールは「ケータイ契約書」等にまとめ、後から確認が出来る様に明文化しよう。
- ・適切な判断の賢いケータイユーザーになるため、情報モラル学習をしっかりとしよう。
- ・一度決めた家庭のルールも、子どもの成長とともに定期的に見直そう。

※上記は、今まで各機関から提言された多くの家庭のルールや、「もっとグッドネット」の取り組みにおける中高生サミットにおいて生徒により作成された「情報モラル五カ条」等を、カテゴリーごとに桑崎が取りまとめたものです。

ケータイを持つための契約書

1 _____ (あなたの名前) がケータイを持つ目的は、次の通りです。

・
・
・

2 ケータイを持つにあたり、_____ (あなたの名前) は、ケータイを使うときの**ルール**や**マナー**を自ら学び、誠実に実践します。具体的には以下を実践します。(使う場所、使う時間、メールの相手、利用するサイト) 食事の時は、入浴時は、就寝時は!!

・
・

3 ケータイの費用は、_____ (例 お小遣い) からやりくりします。(※だれがどのような形で負担するのか話し合しましょう)。

・

4 _____ (あなたの名前) は、お小遣い帳をつけることなどにより、ケータイについての費用を含む自分が使うお金の管理を、自ら確実に行ないます。

5 ※わが家のオリジナルルールを家族と一緒に考えてみましょう。たとえば

- ・ 1カ月の通話料が〇〇〇〇円をオーバーしたら、翌月はケータイを使用しません。
- ・ メールや情報サイトなどに、簡単に自分の名前・電話番号・住所などを書きません。
- ・ 第1～4条までの約束を守れない場合には、すぐにケータイを没収することとします。

6 _____ (あなたの名前) は、これらの約束事をきちんと行なうようベストを尽くします。もし問題がおきた場合には、自分自身の問題として考えるとともに、家族全員に考えてもらいながら解決します。

この契約に同意した日 H _____ 年 _____ 月 _____ 日

署名 (サイン)

保護者の名前 _____ あなたの名前 _____

※ このプリントは、ケータイを所持している人は所持の目的を、所持していない人は将来購入をする際の購入目的を明確に確認するための学習プリントで、購入を勧めるためのプリントではありません。

※ 学習後は自宅に持ち帰り、これを機会に家族とともにケータイについて改めて話し合いをしてみてください。